

# XBRL による資本市場の透明化

**研究のタイトル:**  
情報会計システム論

氏名: 池田公司 教授  
所属: 経営学部経営学科

**1. 適用分野:**  
会計学 (とりわけ, 情報会計論, 国際会計論, 監査論)

**2. 内容:**

- ・特徴: 金融庁は, EDINET (Electronic Disclosure for Investors' NETwork)への XBRL の導入を予定している。米国の SEC は, 既に EDGAR システムへの XBRL の導入を決定しており, SEC 議長のクリストファー・コックス氏は, XBRL の導入によって監査の質が著しく改善されるであろうという期待を表明している。
- ・概要: 日米両国とも, 上場企業の財務報告は電子化されており, XBRL という技術が用いられている。ここに, XBRL とは, 拡張可能な事業報告言語(eXtensible Business Reporting Language)を意味している。もとより, XBRL は米国公認会計士のチャールズ・ホフマン氏の発案によるものであり, 米国公認会計士協会によって開発された経緯がある。同協会は XBRL International という国際組織を立ち上げ, わが国にも XBRL Japan という組織が設立されている。EU 諸国にも, 英国 XBRL 等の組織がある。

わが国では, 政府の e-Japan 構想に基づき, 2005 年 7 月 20 日に「XBRL 仕様書 2.1」が JIS 規格として制定されている(JIS X 7206:2005)。図に示したように, XBRL による情報のサプライチェーンは, 企業を取り巻く総てのステークホルダーに役立つ。

## XBRL による情報のサプライチェーンの効用



(出所) XBRL Japan 編著『Fact Book 9』2007年3月, 4頁。

**3. キーワード:** 拡張可能な事業報告言語(eXtensible Business Reporting Language; XBRL), 拡張された事業報告(Enhanced Business Reporting; EBR), 国際会計基準, 米国証券取引委員会(Securities and Exchange Commission, SEC)

**4. 連絡先:** 甲南大学フロンティア研究推進機構 (甲南フロント)  
TEL : 078-435-2754 [officefront@ml.konan-u.ac.jp](mailto:officefront@ml.konan-u.ac.jp) <http://www.konan-u.ac.jp/front/>